# 事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部長寿介護課			■担当係	高齢福祉係	
■評価事業名称	敬老会主催団体交付金					
■事業開始年度						
■評価事業コード	043100 - 040 ■会計区分 一般会計					
A -1 -	■政策 01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり					
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策 04 共に支えあう地域福祉の推進					
	■施策	施策 01 地域で支えあう福祉サービスの仕組みづくり				
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業) ■政策・業務区分 政策			政策		
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの					
■法令等の名称	<b></b>					
■関連計画の名称						
■事 業 の 目的と概要	長寿を祝い世代間の交流を通して敬老と高齢者福祉に理解を深める。敬老会主催団体 (北上市社会福祉協議会)に対し、敬老会(対象者75歳以上)の運営費として、出席者数 (見込)に応じ交付金を交付する。					

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業コード 名称	事業の対象	平成 27 年度事業計画	平成 27 年度事業量実績
01 敬老会主催 団体交付金	北上市社会福祉協議会、75歳以上高齢者	対象人数 12,760人 交付金額4,620,240円	対象人数12,806人(参加率33.5%) 交付金額4,620,240円

#### 3. 投入コスト情報

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	4,571	4,435	4,298	4,622	
人 件 費	551	1,298	1,304	1,340	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,122	5,733	5,602	5,962	

(単位:千円)

### 4. 評価指標等の状況

指 コ·	音標 指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	敬老会参加率	36.9%	35.2%	34.4%	33.5%	

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

┌■目標達成状況	達成状況の分析			問題点•課題等		
— ■ 日 保 達 成 仏 次 — — — — — — — — — — — — — — — — — —	高齢者は増	<sup></sup> 見えているが、参加者は減少してし	いた	本的都合や交通手段がないことで参加できて い人が増えていることも原因の一つである。□		
			又、	参加者の減少とともに交付金が減っているこ 、実施主体では財政面がかなり厳しいようで		
● B. 概ね順調			ある			
○ C. 遅れている						
┌1. 直接的な受益者の範囲 ──		業廃止の影響 ―――――		国・県・民間との競合関係の有無 —		
○ 不特定多数に及ぶ	0 +	きな不利益やリスクが生じる		類似の事業はない		
● 特定されるが多数に及ぶ	● ある程度の不利益やリスクが生じる			○ 類似の事業はあるが競合はない		
○ 特定少数に限定される	0 1	「利益やリスクは小さい		類似の事業があり競合する		
─4. 事業へのニーズの変化 <i>─</i>		- ├─5. 施策の改善需要度(市民	意識調査)	_   6. 施策の優先度(市民意識調査) —		
○ ニーズが高まっている		│ │ ○ 順位が高い		○順位が高い		
◉ ニーズは変わらない		● 順位が中程度		● 順位が中程度		
		い   ○ 順位が低い		│ │ ○ 順位が低い		
┌7. 他市町村に比較しての優位!	生 ———	─8. 実施主体の代替性 ──		┌9. 経済性・効率性の向上 ────		
○ 先進的またはユニークな事業である		◯ 民間委託等の拡充は難し	l)	● 今以上の効率化や改善は難しい		
● 他と同程度の事業である		○ 民間委託等の拡充が十分に可能		○ 効率化や改善を図ることは十分に可能		
│ ○ 遅れている事業である		│		○ 効率化や改善の余地が大きい		
■事業の見直し方策						
市の交付金の減少により、地域の 実施にあったって苦労している。』	)持ち出しが。 軍営主体でを	多くなり、各地区では 📗 📗	) Ⅰ. 拡充			
という認識は薄いようである。			) I. TATE	○ Ⅳ. 廃止・休止		

■ II.継続 ○ Ⅲ. 縮小 ○ 🗸 完了